

野洲川 河川管理レポート

平成26年度

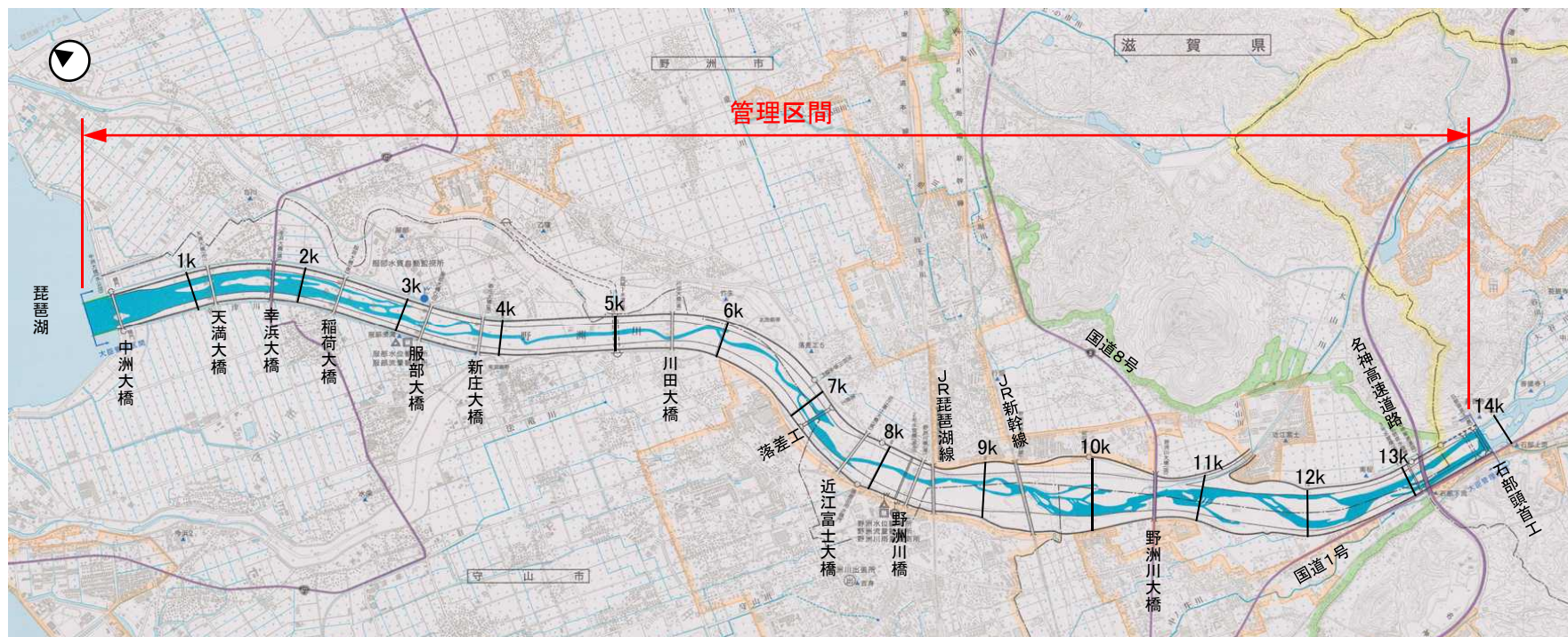
平成27年3月

近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所

< 目 次 >

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 野洲川の概要 | 1 |
| 2. 維持管理の目標 | 2 |
| 3. 河川管理の概要 | 3 |
| 4. 平常時の河川管理 | 4 |
| 5. 出水時、地震時の河川管理 | 5 |
| 6. 平成26年度 of 取組結果 | 6 |
| 7. 平成26年度 of トピックス | 7 |

1. 野洲川の概要



野洲川は、その水源を鈴鹿山系の御在所岳(標高1,210m)に発し、琵琶湖に流入する河川のうち、流域面積が最も大きい河川です。

管理区間内には、JR新幹線、JR琵琶湖線、名神高速道路、国道8号等の重要交通網が渡河しています。

- 管理区間延長 13.8km
- 流域面積 387km²
- 既往著名出水 昭和40年9月18日; 2,600m³/s



2. 維持管理の目標

■ 河川維持管理計画

河川維持管理計画とは・・・河川整備計画は、河川法(昭和39年法律第167号)第16条の2第1項に基づき、計画対象期間(概ね20～30年間)における河川整備の具体的な内容を定めることにより、河川整備の計画的な実施の基本となるもので、河川の特性や地域の実情等を踏まえ、河川の維持の目的、種類及びその施行箇所に関する事項を含むものです。

一方、概ね5年間を計画対象期間とする河川維持管理計画は、河川整備計画に沿って、河川維持管理を適切に実施するために必要となる具体的内容を定めるものです。

■ 野洲川での目標

河道流下断面の確保

- 当該断面の流下能力を考慮して維持管理すべき一連の河道流下断面を設定。

琵琶湖流入点～落差工(放水路区間)：
4,500m³/s (計画高水流量)
落差工～管理区間上流端：現況流下能力量

河川区域等の適正な利用

- 治水、利水、環境の目的と合致して適正に利用されるよう、河川敷地の占用や不法行為等への対応に関する目標を設定。

1. ゴミの不法投棄の防止
2. 不法占用等の防止

施設の機能維持

- 維持すべき施設の機能について、施設の種別等に応じて設定。

1. 河道(河床低下・洗掘の対策)
 - ・河床低下等が生じないように維持
2. 堤防
 - ・堤防の侵食、浸透に対する機能を維持
3. 護岸、根固め、床止め(落差工)
 - ・所要の機能が確保されるように維持
4. 水門、樋門、排水機場等
 - ・土木施設、機械設備、電気設備について、所要の機能が確保されるように維持

3. 河川管理の概要

■ 平常時の河川管理

- 状態把握・・・測量、巡視、点検(除草)
- 維持管理対策・・・施設補修・更新、樹木伐採、維持掘削、塵芥処理、不法行為対応

■ 出水時の河川管理

- 情報収集、発信、提供・・・水文観測、気象情報、防災ヘリ、CCTV
- 状態把握・・・巡視
- 施設操作・・・樋門、水門、排水機場、陸閘等
- 緊急対応・・・災対車、緊急復旧
- 水防活動支援・・・情報提供、資機材支援

■ 地震時の河川管理

- 震度5弱以上を観測した場合・・・緊急巡視、施設点検

■ 平成26年度の取組結果

- 河道内樹木の伐採
- 河道内堆積土砂の撤去

■ 平成26年度のトピックス

- 高水敷陥没対応(空洞探査、堤防開削)
- 野洲川総合水防演習



▲ 洪水対応演習の実施状況

4. 平常時の河川管理

平常時の河川管理は、下記の点検等により、河川の状態把握を行っています。

その結果を分析、評価して必要な補修等の対策を実施しています。

■ 基本データの収集

- 雨量、水位観測
- 低水・高水流量観測
- 縦横断測量
- 水辺の国勢調査 他

■ 巡視、点検

- 河川巡視(2回/週)
- 目的別巡視(1回/年)
- 堤防点検(2回/年)
- 施設点検
 - ・樋門、水門等
 - ・電気通信施設
 - ・水文観測施設

■ 堤防点検等のための環境整備

- 堤防除草
- 塵芥処理 他

巡視、点検



▲ 河川巡視の実施状況



▲ 目的別巡視の実施状況



▲ 前田樋門の点検状況

環境整備



▲ 堤防除草の実施状況



▲ 堤防除草の実施状況

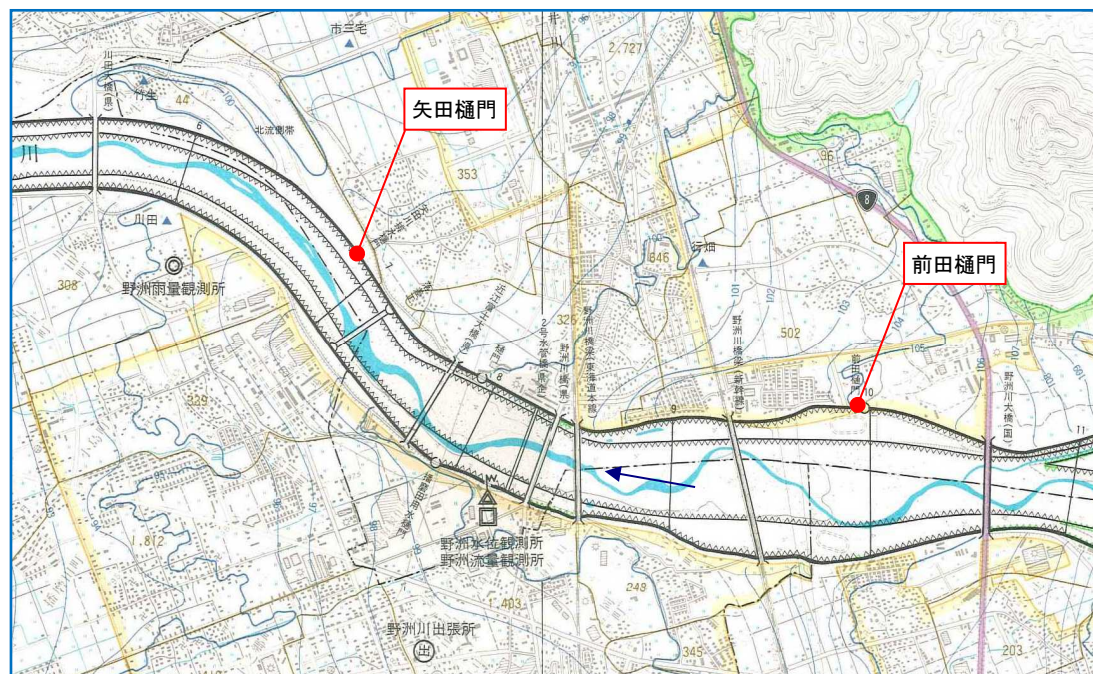


▲ 塵芥処理の実施状況

5. 出水時、地震時の河川管理

■ 出水時の河川管理

- 出水時には、2班による緊急巡視を実施し、出水状況や施設の状態を確認しています。
- 矢田樋門と前田樋門の2箇所の樋門で水位を監視し、ゲートの開閉操作を行っています。
- また、出水後の水位低下後は、異常がないか速やかに点検を実施し、必要に応じて応急対策を実施します。



■ 地震時の河川管理

- 震度5弱以上を観測した場合、2班による緊急巡視を実施し、河川管理施設の状態を確認します。
- また、河川管理施設に異常が無い場合速やかに点検を実施し、必要に応じて応急対策を実施します。



▲ 矢田樋門の全景

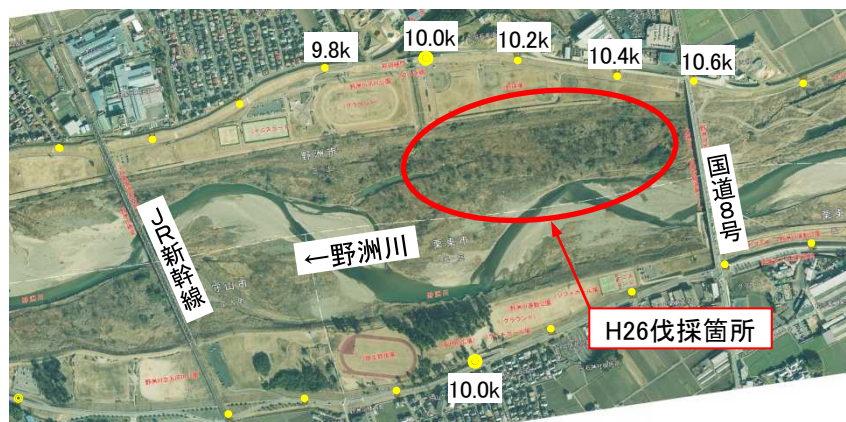


▲ ゲート操作の実地訓練状況

6. 平成26年度の取組結果

河道内樹木伐採

- 洪水の流下を阻害するなど、河川管理上支障となる樹木を計画的に伐採しています。
- 護岸などの河川管理施設を損傷させる恐れのある樹木についても、伐採を実施しています。
- 伐採区間：距離標 10.0km～10.4km
- 伐採面積＝17,700m²

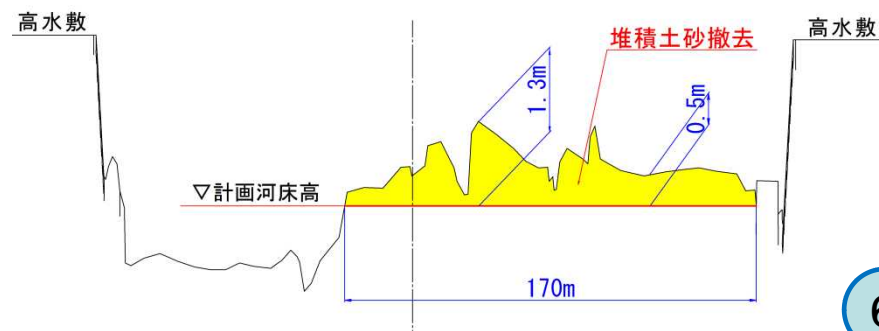
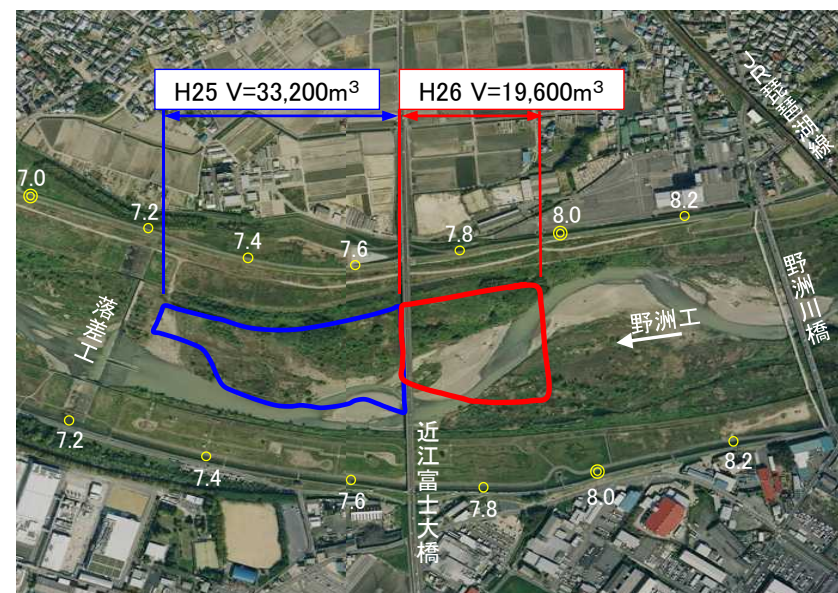


▲ 伐採前の状況

▲ 伐採後の状況

河道内堆積土砂撤去

- 落差工上流において、堆積し流水阻害となっている土砂を平成25年度から2ヶ年で撤去しました。
- H26年度の撤去土砂量＝19,600m³



7. 平成26年度のトピックス

高水敷陥没対応

- 野洲川左岸8.7km付近の高水敷に位置する立入河川公園内で、平成26年9月5日に陥没(縦0.6m×横0.6m×深さ2.0m)が発見されました。
- 試掘等の結果、複数の樹木が確認されました。
- 出水期後の平成27年1月～3月にかけて、堤防を開削して全ての樹木を除去しました。



▲ 陥没の状況



▲ 樹木の埋設状況



▲ 堤防開削の状況



▲ 除去した樹木

野洲川総合水防演習

- 平成26年5月11日に野洲川河川敷(川田大橋上流)において、水防活動を中心とした総合的な訓練を実施しました。
- 演習参加：50機関、約1,100人
- 演習概要

| | |
|-------------|---------------------|
| 1) 情報収集伝達訓練 | 5) 自衛隊への応援派遣要請訓練 |
| 2) 水防工法訓練 | 6) 特定緊急排水活動 |
| 3) 避難訓練 | 7) TEC-FORCEの支援活動訓練 |
| 4) 道路啓開訓練 | 8) 救出・救護訓練 |



▲ 警察、消防による救出・救護訓練



▲ TEC-FORCEの支援活動訓練



▲ 水防工法訓練(洗掘対策)